（様式２）

**公募の際には、*「斜字」*で記載された事項は削除のうえ本様式を提出すること**

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号※記載不要 |  |

令和６年度「運輸部門におけるエネルギー使用合理化・非化石エネルギー転換推進事業費補助金（新技術活用によるサプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業及びトラック輸送における更なる省エネ化に向けた実証事業）」

提案書

|  |
| --- |
| １．補助事業の目的及び内容（事業の実施方法）　（（１）及び（２）共通：審査基準②③④⑦） |
| （１）補助事業の実施方法　（特に審査基準⑥が該当） |
| *・間接補助事業者の交付要件（対象者、補助対象経費、補助金上限額　等）**・間接補助事業者の募集方法、申請方法及び審査・採択方法**・事業効果の把握、評価及び公表の方法**・事務コストの削減取組**＊募集要領の「１．事業概要」の「１－３．事業内容」の項目ごとに、具体的な実施方法及び内容を記載の上、補助事業の目的をどのように達成するか記載してください。**＊「新技術活用によるサプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業」について、１）より省エネ効果の高い取組（※）や非化石エネルギー転換（ＥＶやＦＣＶ等）に向けた野心的な取組の提案を喚起するための工夫（想定採択事例の例示や公募前の広報活動等）や、２）より優れた提案を評価する評価手法を具体的に提案してください。**＊「トラック輸送における更なる省エネ化に向けた実証事業」について、１）より省エネ効**果の高い取組（※）を優先して採択し、かつ、２）幅広い事業者に対して補助できる仕組みを具体的に提案してください。また、省エネ効果の判定をどのように行い、採否を決定するのかについても具体的に記載するとともに、予定された省エネ効果のフォローアップをどのように行うのかについても具体的に提案して下さい。**＊本事業の成果を最大限高めるために、事業の結果から優良事例をどのように抽出し、横展**開に活用するのか、どのような媒体を介して横展開を行うのかについて、具体的な提案を記載してください。**＊本事業の執行コストを削減するための具体的な業務効率化取組を記載して下さい。**（※）「省エネ効果の高い取組」とは、事業全体のエネルギー使用量全体に占めるエネルギ**ー削減割合が大きいもの、又は、一部の取組みであってもエネルギー削減量が過去**の優良事例と比較して遜色ないものと定義します。* |
| （２）実施体制　（特に審査基準⑧⑩⑪が該当） |
| *＊実施責任者略歴、研究員数等及び実施者の業務内容**＊委託又は外注を予定しているのであればその内容（申請者自身が行う業務内容（ただし、企画・立案及び業務遂行管理部分については申請者自身が行う必要がある）、相手先の名称、相手先の選定方法、予定金額等も含む）**＊業務管理費に対する委託・外注費の合計の割合が５０％を超える場合は、相当な理由がわ**かる内容（「委託・外注費の額の割合が５０％を超える理由書」（様式３）を提出すること。**※グループ企業(補助事業事務処理マニュアル３４ページに記載のグループ企業をいう。)との取引であること**のみを選定理由とする委託、外注（再委託及びそれ以下の委託を含む）は認めない。* |
| （３）補助事業の効果 |
| *＊本事業を実施した場合に期待される効果を記載してください。* |
| ２．補助事業の開始及び完了予定日（スケジュール）（１．（１）の実施が月別に分かること）（審査基準④） |
| *＊本事業の事業開始日（交付決定日）は、令和６年４月上旬頃になる見込みです。* |
| ３．申請者概要（審査基準⑤⑦） |
| （１）申請者の営む主な事業 |
| 別添、会社概要（パンフレット）のとおり*＊会社概要を作成していない場合、申請者の営む主な事業を記載してください。* |
| （２）申請者の財務状況 |
| 別添、財務諸表のとおり*＊特記事項等がある場合には併せて記載してください。* |
| （３）事業実績 |
| 類似事業の実績*・事業名、事業概要、実施年度、発注者等（自主事業の場合はその旨）* |
| ４．補助金見込額等（審査基準⑨） |
| *＊公募申請時点での見込みを記載ください。**（※採択後、経済産業省と調整した上で決定することとなります。）***○積算内訳**（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分及び内訳 | 補助事業に要する経費 | 補助対象経費 | 補助金申請額 |
| 新技術活用によるサプライチェーン全体輸送効率化・非化石エネルギー転換推進事業費（補助率：定額） |  |  |  |
| トラック輸送における更なる省エネ化に向けた実証事業費（補助率：定額） |  |  |  |
| 業務管理費①（委託・外注費を除く）（補助率：定額） |  |  |  |
| ・人件費・旅費・会議費・謝金・備品費・借料及び損料・消耗品費・印刷製本費・補助員人件費・一般管理費・その他諸経費*＊募集要領の「７．補助対象経費の計上」の「７－３．補助対象経費からの消費税額の除外）のとおり補助対象経費は、原則、消費税等を除外して計上してください。* |  |  |  |
| 業務管理費②（補助率：定額） |  |  |  |
| 　委託・外注費 |  |  |  |
| **合計（見込額）** |  |  |  |

＊業務管理費の経費区分のうち、委託・外注費については他の経費と区分を分けてください。＊業務管理費①及び②については、２－１の事業区分毎に記載してください。＊補助率は、募集要領「２．補助金の交付の要件」の「２－２．補助率・補助額」に記載のとおりとしてください。また、補助金申請額の小数点以下の端数は切り捨てた金額を記載し　てください。**○資金計画*（記載例）***　補助事業に要する経費　1,000,000,000円　　うち補助金充当（予定）額　1,000,000,000円　　　（精算払までの期間は、自己資金で支弁予定　　　　　　　　　　　　Or　自己資金での立替えが困難なことから概算払の要望有）　　金融機関等からの借入れ（予定）額　0円　　　（借入条件：補助事業取得財産の担保予定の有無　　無し）　　自己資金充当額　0円　　収入金　0円（該当する場合のみ記載のうえ、収入金の詳細について記載すること） |
| ５．遵守確認事項（審査基準➀） |
| 下記の項目に関して宣誓（チェック）してください。* 応募資格に挙げた要件を満たしていること。
* 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成１８年法律第４８号）に基づき設立された一般社団法人及び一般財団法人で応募しようとするものについては、同法第１２８条又は同法第１９９条に基づく貸借対照表等の公告を実施していること。
* 会社法等、遵守すべき法令を遵守していること。

※１－５．応募資格を満たすことの説明を本提案書または補足資料に記載ください。 |